

#UiPathForward

トヨタ自動車におけるRPAの適用

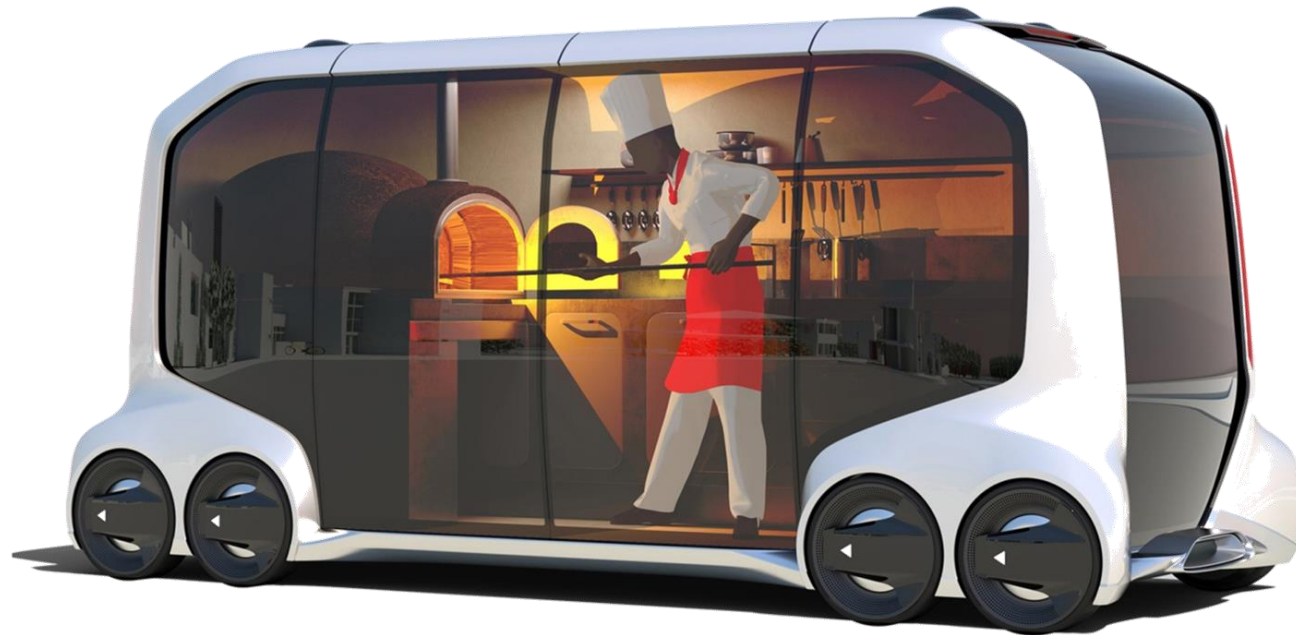
トヨタ自動車株式会社 ITマネジメント部長
岡村達也



RPA導入の背景

笑顔のために。期待を超えて。

Rewarded with a smile by exceeding your expectations



TOYOTA

新しいモビリティ社会への挑戦



コネクテッド

百年に一度の
大転換期



自動運転



カーシェア/ライドシェア



電動化

START YOUR IMPOSSIBLE の実現に向けて

トヨタのやるべきこと

大きなGAP

人的リソース

新しいモビリティ社会への挑戦

もっといいクルマづくり
もっといいサービスの提供

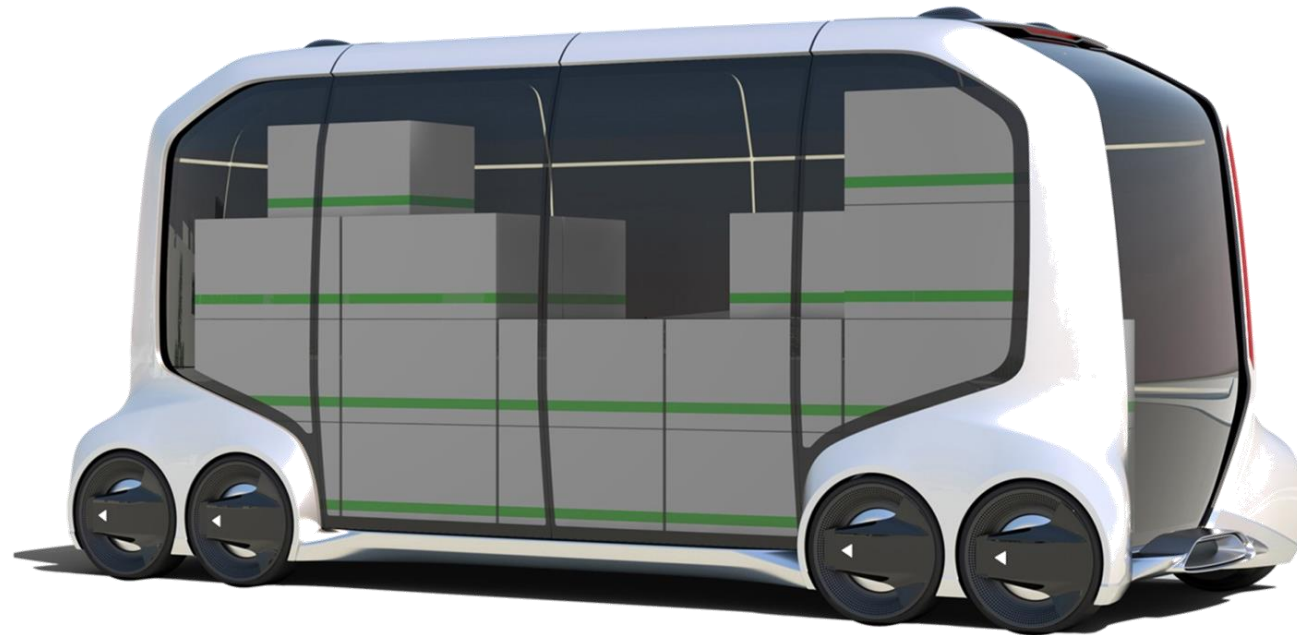
RPAを導入でGAPを解消

ホワイトカラーの
生産性を圧倒的に向上

RPA導入に向けて

笑顔のために。期待を超えて。

Rewarded with a smile by exceeding your expectations



TOYOTA

RPA化のプロセス作り

社内ニーズを確認

▶ あっという間に **1,000業務** を超えるRPA要望

このままスタートを切ると、とんでもないことに...

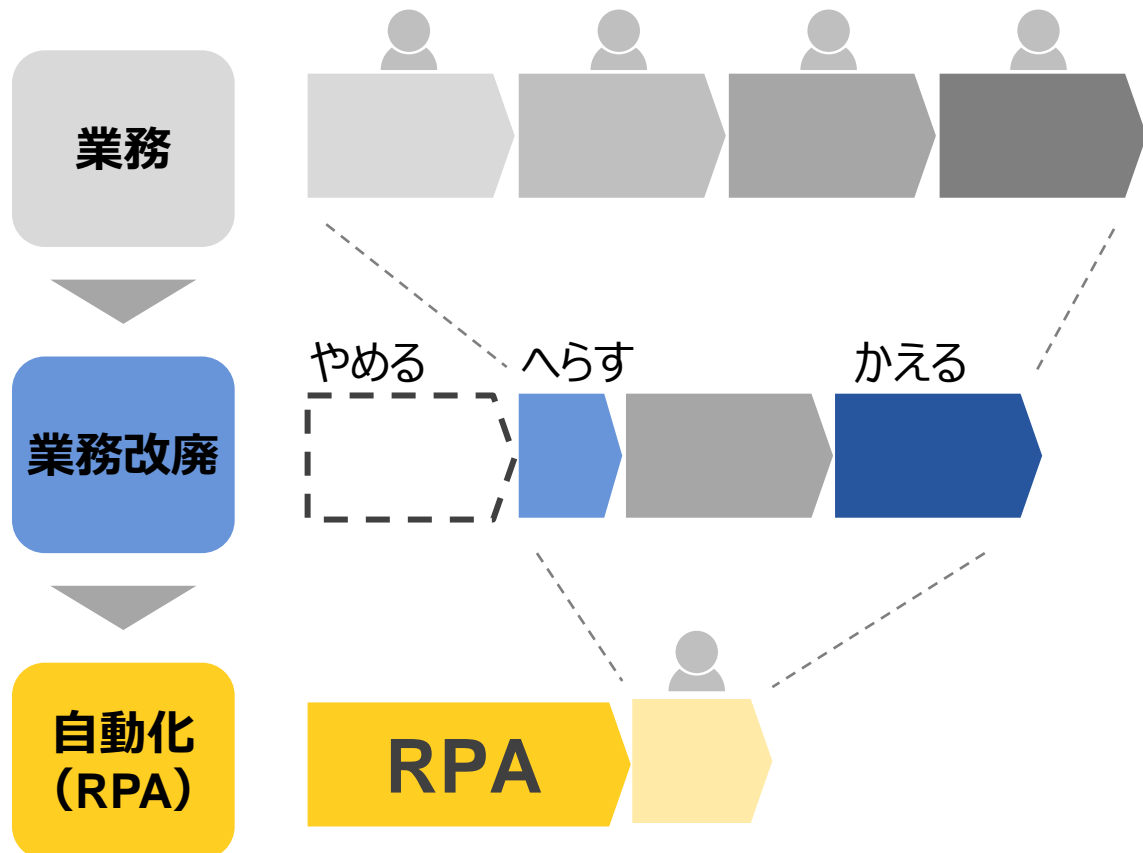
RPA化のプロセスを整理

1. 業務改廃とセットでRPA化
2. プロセス・ドキュメントの標準化
3. ハイブリッド開発
4. ベンダー/パートナー体制の構築
5. トヨタグループ内の勉強会

1. 業務改廃とセットでRPA化

ユーザ部門と情シス部門で議論を重ねてからRPA化

業務改革部署と“業務改廃 + RPA”の教育カリキュラムを用意



■ やめる

目的が不明確になっていないか？
他でも同じ様なことをやっていないか？

■ へらす

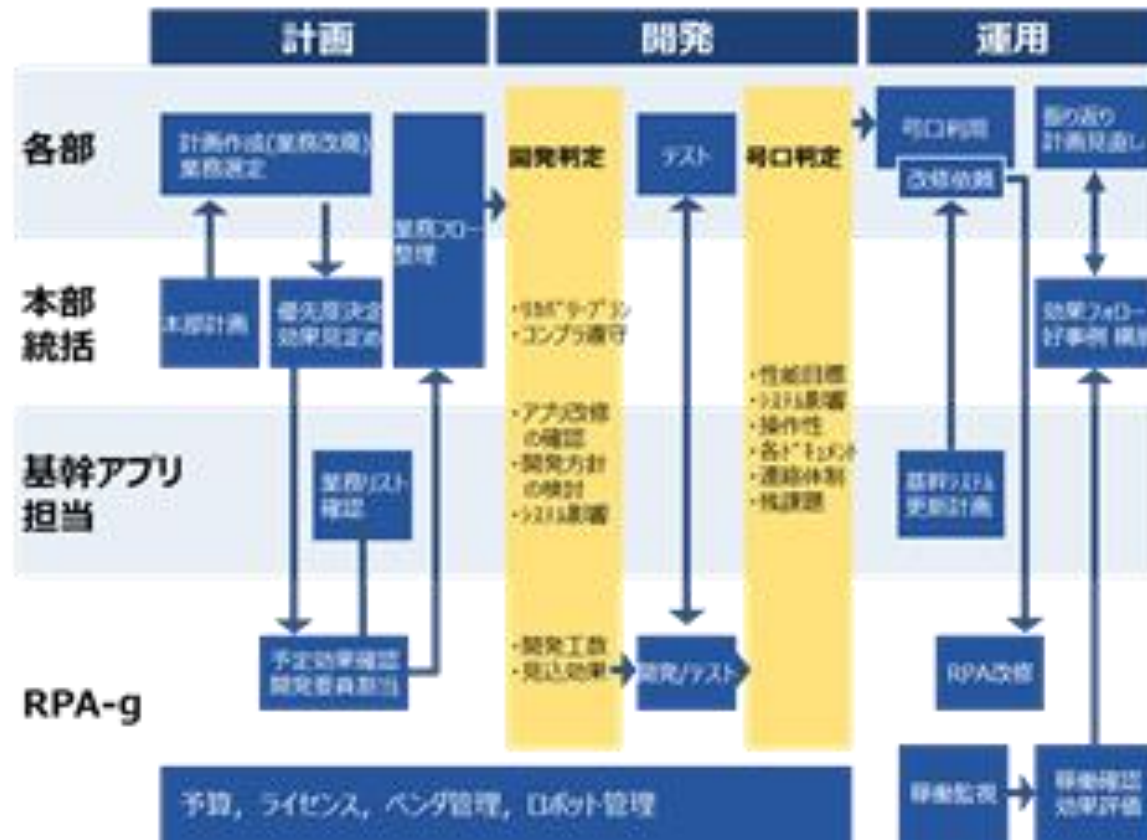
必要以上の目標を設定していないか？
過剰品質になっていないか？

■ かえる

目的・目標とアウトプットがずれていないか？
紙を電子データに変えられないか？

2. プロセス・ドキュメントの標準化

■ 開発フローの標準化



■ 開発ドキュメントの標準化

開発用ドキュメントのひな形 (仕様書, 判定書等)

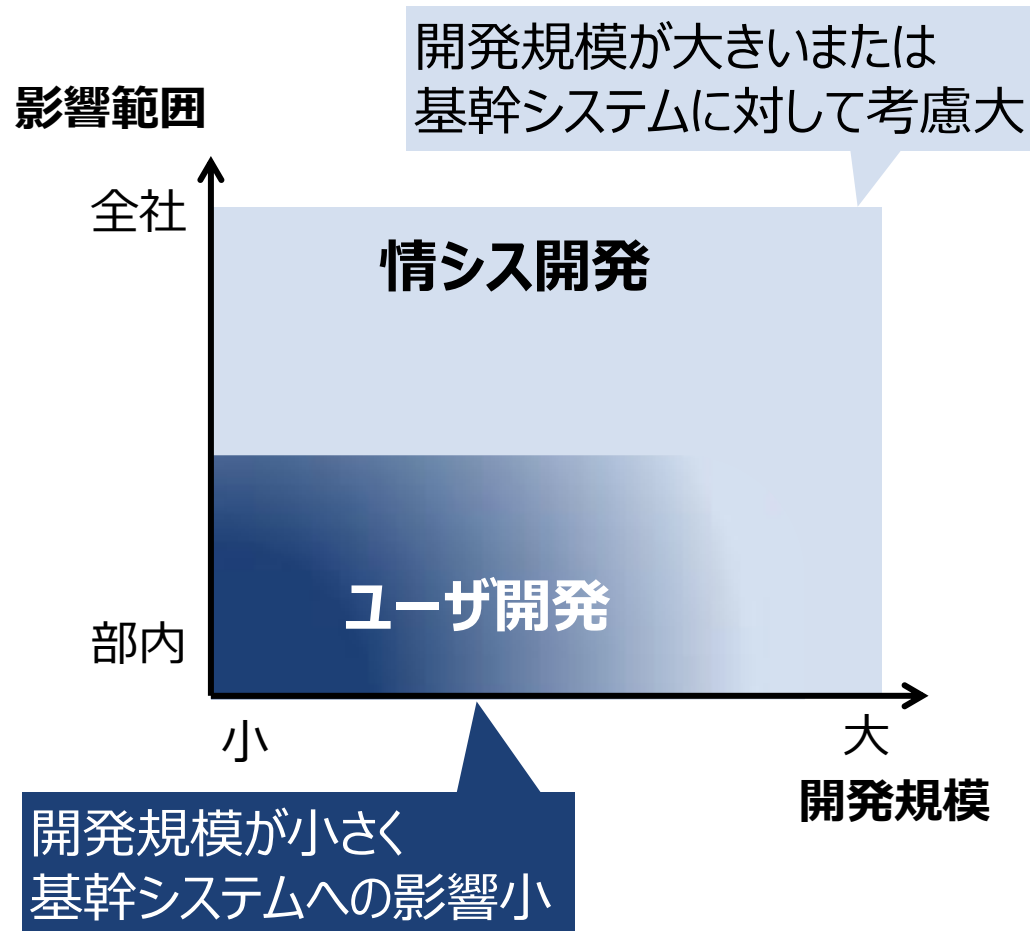


コーディング基準書 (命名規則, ログ出力等)



3. ハイブリッド開発 (情シス部門とユーザ部門)

■ ユーザ部門と開発を分担



■ ユーザ開発向け教育

トライをするも
全くの素人に開発は困難

スキルに応じた教育メニュー要

- ・RPA開発の基本知識・操作
- ・トヨタ業務改廃

集合教育 1.5日
10人/回 x 月4回開催

- ・実践練習

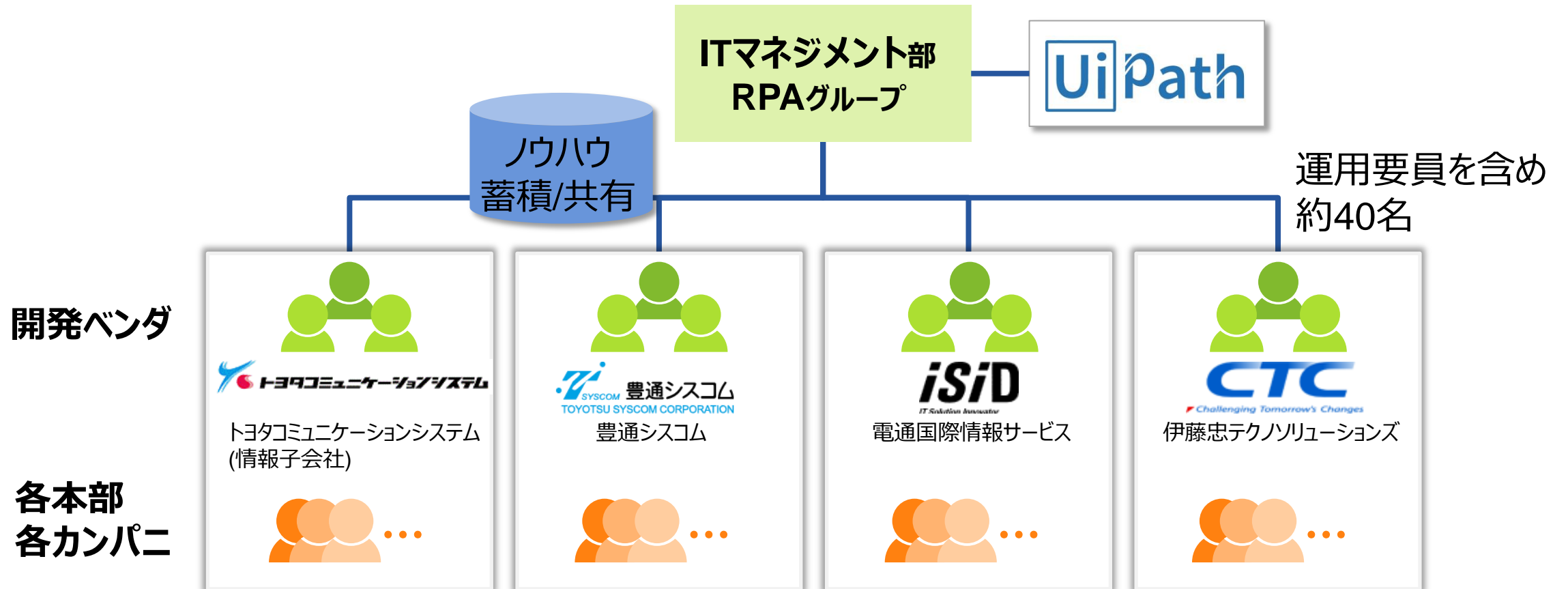
自習 50時間以上

- ・効果的な開発・管理

検討中

4. ベンダー/パートナー体制の構築

ニーズに対応するには 開発者が情報子会社のみでは圧倒的に不足
マルチベンダー体制でノウハウを蓄積し，共にスキル向上



5. トヨタグループ内の勉強会

グループ各社，RPAの経験乏しく手さぐり状態



'18年2月より勉強会を3ヶ月毎に開催 (5月参加 16社 44名)

RPAの展開プロセスの共有や懸案事項を議論し各社早期の展開を図る

